

進路指導部便り

令和8年2月27日
第8号
東京都立七生特別支援学校長
黒澤 一慶

早いもので2月も終わりを迎え、令和7年度もいよいよ残すところあと1ヶ月となりました。今年度の総まとめとして最後まで勉強や運動等、様々なことに取り組んでいきましょう。

今回は、「高1インターンシップの報告」、「日野市内福祉事業所連絡会の報告」について、裏面には「高等部進学時の専門学科受験について」を掲載しております。

高1インターンシップの報告

今年度は12月から一足早く高等部1年生のインターンシップが始まりました。

1年生は卒業後の進路先を「知る」というテーマで1年間学習をしてきました。1学期は進路先見学を通して、「見て知る」、そして今回のインターンシップは、「体験して知る」を目標にしています。

学校以外の場所で2日間の体験をするために、職業やホームルーム活動の時間を中心に、目標設定、日誌記入、面談練習、通勤経路確認、壮行会等の多くの準備を行ってきました。今年の1年生は、全体的にインターンシップへの不安を口にする生徒が多く、各学級でインターンシップへの見通しをもてるような話をしたり、実際に働く場所の写真を見たりして、過度の緊張なく参加できるように工夫をしてきました。

既に体験を終えた生徒たちからは、それぞれが感じたことをしっかり報告を受けています。実際の生徒の声として、「箱折り、ダイレクトメールができた」、「七生の先輩が優しく教えてくれた」、「雪も降って通勤が心配だったが、一人で行けた」、「今回の仕事は合っていないような気がした。次は〇〇をやりたい」などがありました。

今回の経験を今後の進路選択に生かしていけるよう、引き続き指導して参ります。

日野市内福祉事業所連絡会の報告

昨年度に引き続き、本校主催の「日野市内福祉事業所連絡会」を実施しました。連絡会には、市内の福祉事業所の施設長や日野市役所障害福祉課の方、合わせて20名の方に御参加をいただきました。当日は残念ながら欠席となった事業所もありましたが、事前アンケートは全事業所に回答いただき、本連絡会に対する関心の高さを感じることができました。

当日は、新規開設予定の事業所と既存事業所から、今後サービスの拡大等を検討している事業の構想などをお話いただきました。数年後になる話もありましたが、実現することで日野市の福祉がより一層充実することへの期待を感じることができました。

ケース検討では、学校・行政・福祉が丸となり、どんな支援ができるか、本人・保護者を孤立しないようなネットワーク構築の方法について意見交換を行いました。本連絡会を始めたきっかけは「より一層充実したネットワークの構築」をねらいとしたところがあります。今回のケース検討を通して、各事業所からの助言を聞き、ネットワーク構築が少しずつ形になってきたことを感じることができました。

本連絡会は、本校主催で始めてきましたが、来年度からは福祉事業所施設長会（仮）として、幹事の事業所を募り、運営を行っていきます。学校が目指したい方向性を市内の事業所とも共有することができ、継続的に運営していくために主催を変更する流れとなりました。本校も引き続き会に参加し、児童・生徒に関わる情報などを共有し、構築したネットワークを活用して関係各所との連携を深め、この取り組みを日野市の福祉政策の充実につなげていきたいと思っております。

高等部進学時の専門学科受験について

知的障害のある児童・生徒の進路先は主に図1のようになっています。その中で、高等部進学タイミングからは多くの選択肢が存在します。今回は、進学先の1つである専門学科（就業技術科・職能開発科）の受験について紹介します。令和6年度の「都立八王子南特別支援学校（職能開発科）」（八王子市鎗水）開校を機に、本校中学部の生徒の就業技術科・職能開発科（以下、就技・職能）への受験希望者（図2）が増えてきています。

就技・職能は、各校定員があるため、入学者選考を行い、合格した生徒が入学することができます。入学者選考は、面接の他に適性検査（図3）が行われます。適性検査・面談・調査書のそれぞれの点数で合否が決まるため、適性検査について8割以上の点数を取ることが求められます。（図4の二次元バーコードを読み取ると過去問を閲覧できます）

また、就技・職能の募集要項には、いくつかの条件が記載されています。その中の1つに「将来、企業への就労を目指す者」という記載があります。就技・職能は「企業就労率 100%」を目指す学校となり、企業就労を目指す上では、本人の働きたいという気持ちが非常に重要となります。

就技・職能への進学に御興味のある方は、

- ② 中学部入学後から各校のホームページを確認し、計画的に見学会等に参加する。
- ② 適性検査の過去にあるような問題を解けることが重要となるため、御家庭で問題集を購入し取り組む。
（本校では、中学部3年生の受験希望者に対して、個別に面接練習や問題配布をしていますが、3年生より前から計画的に御家庭でも取り組むとよいと思います。）
- ③ まずは、学級担任に御相談ください。

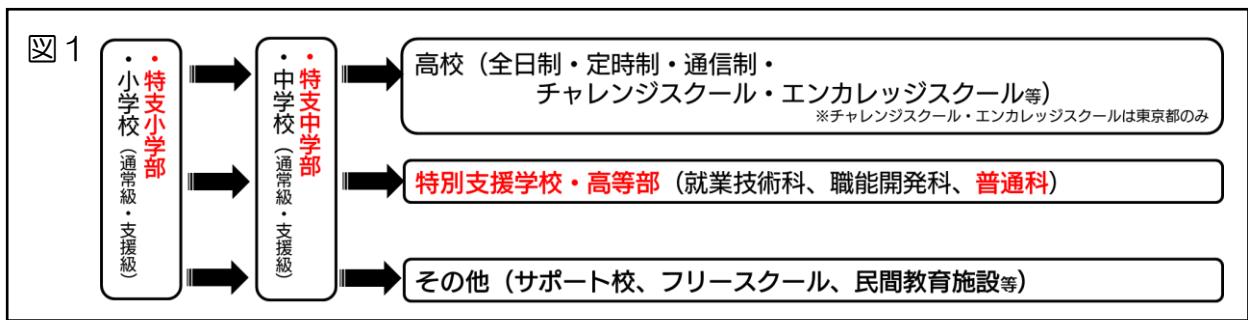


図2	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
就技・職能受験者数	0名	0名	2名	4名

図4 過去問

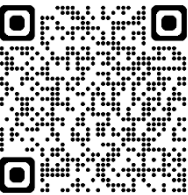


図5パンフレット



図6 専門学科
各校説明



図3	適性検査Ⅰ	適性検査Ⅱ
出題のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・指示の内容を理解し、指示に従って正確に作業を遂行する力を把握する。 ・数量、時間、言語等に関する基本的な理解力、及び決められた間内で生活に書類する力を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の生活等で経験した事柄について、文章で表現する力を把握する。 ・社会や集団のルール、望ましい行動や態度等について、文章で表現する力を把握する。
検査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記による検査 ・実技（作業）による検査 	<ul style="list-style-type: none"> ・作文
検査時間	60分	40分